

## 研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道アカラシア及びその類縁疾患に対する経口内視鏡的筋層切開術(Per-oral endoscopic myotomy: POEM)における周術期胸痛と患者背景因子・手技因子の検討

### 1. 研究の対象

2014年3月24日から2021年5月31日の期間に当院にてPOEMを施行した患者様です。

### 2. 研究目的・方法

当院では、食道アカラシア及びその類縁疾患に対する治療法として、経口内視鏡的筋層切開術(Per-oral endoscopic myotomy: POEM)、また治療前後の検査として食道透視検査を施行しています。多くの患者様で、周術期に胸痛を認めますが、その胸痛の程度と、患者背景因子・手技因子との関連は明らかになっておりません。今回、食道アカラシア及びその類縁疾患に対するPOEMの周術期胸痛と、患者背景因子・手技因子との関連を明らかにすることを目的とし、2014年3月24日から2021年5月31日の期間に当院にてPOEMを施行した患者様を対象とし、周術期に使用した鎮痛薬の使用量と、患者背景因子・手技因子との関連を検討する臨床試験を計画しました。

### 研究期間

2021年7月1日から2025年3月31日までとします。

### 3. 研究に用いる情報の種類

2014年3月24日から2021年5月31日の期間に当院にてPOEMを施行した患者様の診療録の情報のうち、周術期の鎮痛薬の使用量、患者背景(年齢、性別、BMI、既往歴、内服薬等)、内視鏡画像、食道内圧検査結果、食道透視検査結果、手技結果(手術時間、合併症の有無、筋層切開長等)の情報を用います。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

研究責任者:

所属: 昭和大学江東豊洲病院消化器センター 氏名: 藤吉 祐輔

住所: 135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号: 03-6204-6000